

## ■研究授業 2

1 研究主題 立体切り画 メタモルフォーゼ <全2時間>

2 提案者 江戸川区立松江第一中学校 教諭 岡田 卓也

### 3 テーマと題材の関わり（題材設定の理由）

新学習指導要領では、「A表現」が発想や構想に関する項目と、表現の技能に関する項目に分けて示された。表現形式を問わず、発想・構想の深まりが表現に反映されるような指導の工夫が求められている。

そこで本題材では、「かたち」の扱いを主題に、絵画・彫刻・デザインを越えて広く発想されている「変化・変容」を題材とした。単に「かたち」の創造を目指すのではなく、「何を」変化・変容させるか、テーマを深め、発想・構想の深まりがそのまま表現として生きるような課題を設定した。

また「変化・変容」は、美術の伝統的なテーマであるとともに、中学生の知的好奇心を喚起し、驚きと面白みを持って制作にあたれる課題であると思い、提案した。

### 4 学習の目標

- (1) 変化・変容の面白みを味わい、独創的なテーマを選択・設定する。
- (2) 立体切り画の魅力と特性を理解し、変化・変容を形として表現する。

### 5 評価の観点

- (1) 関心・意欲 … 意欲的に制作に取り組めた。(授業観察・定期考査)
- (2) 発想・構想 … 変化・変容について理解し、独創的なテーマを選択・設定できた。(作品)
- (3) 技能・表現 … 立体切り画の特性をつかみ、形として表現する。(作品)
- (4) 鑑賞・理解 … 変化・変容の面白みを感じることができた。(作品・定期考査)  
立体切り画の魅力味わえた。(作品・定期考査)

### 6 学習活動(全2時間)

第1時 題材の設定、下絵の作成

第2時 立体切り画の制作(本時)

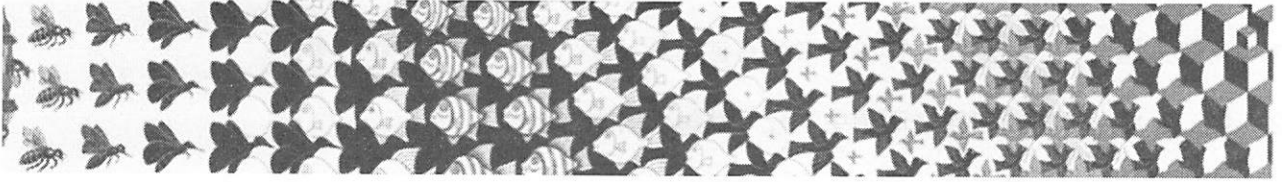
#### (1) 用具・準備

- ① 材料 B4両面色画用紙 色画用紙
- ② 道具 カッター カッターマット 30cm定規 サインペン 鉛筆
- ③ その他 参考作品・図版

#### (2) 展開

学習の流れ	学習活動	指導上の留意事項
導入	前時の確認 参考作品・図版の鑑賞。 変化・変容についての題材の確認。 作品進捗の確認。	・前時に使用した図版を提示し、内容を思い起こさせる。 ・生徒作品を提示し、感心・意欲を高める。
展開	切り込み 両面色画用紙の外形(正三角形)を切り出し、折り目に切り込みを入れる。  切り抜き 下絵の線をカッターで切り抜き、反対側に折り返して立体切り画を完成させる。	・外形の切り出しは定規の裏を用い、切り込みはカッターの刃の裏を使う。  ・カッターの扱いに注意し、切れ味の悪い物は教員が刃を折る。
まとめ	片付け・まとめ 用具を片付け、作品を机の上に置く。 感想カードに感想をまとめる。	・用具の数の確認。 ・作品を各自の机の上に置き、時間があれば、鑑賞の時間を取る。

【メタモルフォーゼの作品例】



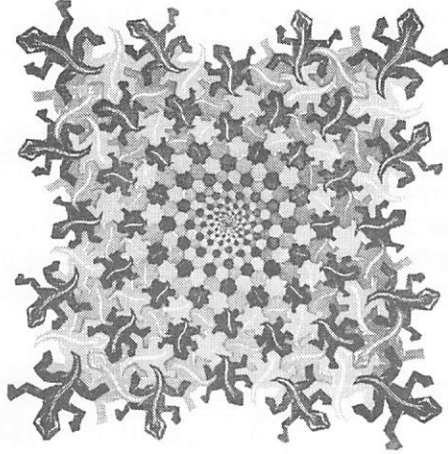
M.C.エッシャー 《メタモルフォーゼⅡ》木版画 1939-40年

彫刻「ダフネ→月桂樹」



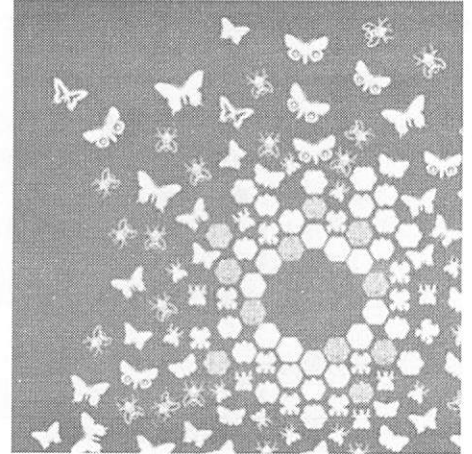
ベルニーニ 1625年

版画「幾何形態→トカゲ」



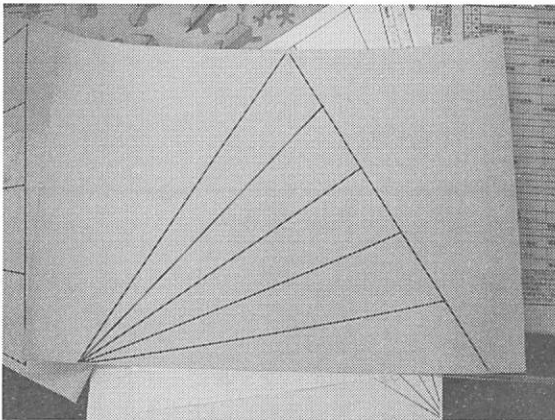
M.C.エッシャー 1939年

デザイン「幾何形態→蜂と蝶」

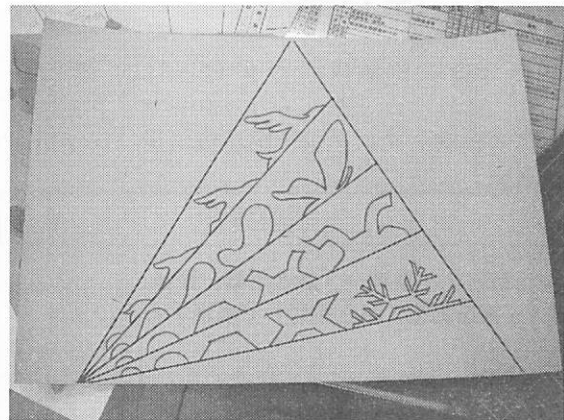


absolute zero degrees 2001年

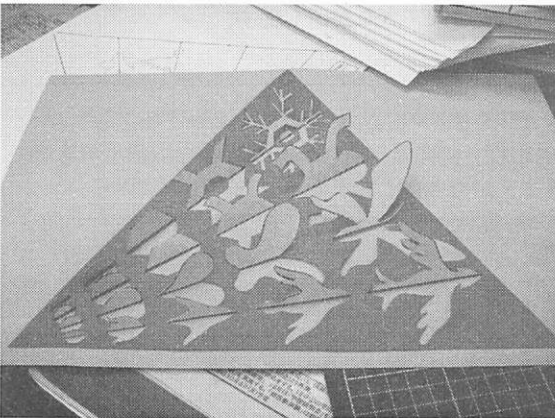
【制作手順】



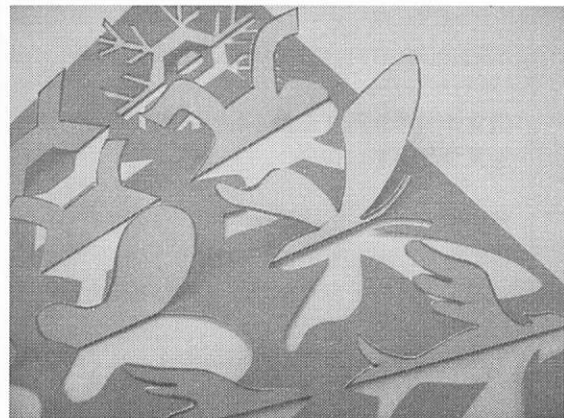
両面色画用紙を用意



テーマを設定し、下絵を描く



カッターで切り出し、折り返す



最後の形はできるだけ大きく、細かく作る